

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第68期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社サンユウ
【英訳名】	SANYU CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 上野 隆
【本店の所在の場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 西村 圭二
【最寄りの連絡場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 西村 圭二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第2四半期 連結累計期間	第68期 第2四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	7,214,793	7,397,356	14,401,284
経常利益又は経常損失() (千円)	59,958	7,243	87,970
四半期純損失()又は当期純利益(千円)	96,134	33,159	11,715
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	141,925	31,569	30,012
純資産額(千円)	6,604,607	6,655,038	6,716,520
総資産額(千円)	15,353,897	14,982,184	15,032,025
1株当たり四半期純損失金額 ()又は1株当たり当期純利益 金額(円)	16.07	5.54	1.96
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	43.0	44.4	44.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	189,413	367,075	216,499
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	214,730	18,515	83,683
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	11,732	323,670	209,062
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,049,194	1,413,714	1,388,825

回次	第67期 第2四半期 連結会計期間	第68期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	4.80	1.57

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当社グループのセグメントはみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一事業であります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスによる景気回復期待感から株価回復が進むとともに円安基調が定着するなか、企業収益の改善を中心に景気は緩やかに回復しつつある一方、電気料金の値上げ、原燃料価格の上昇及び欧州の政府債務問題による景気下振れリスクなど依然として先行き不透明な状況が続きました。

みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界におきましては、主要需要家である自動車、建設機械及び産業機械の各業界需要が堅調に推移したことにより、生産も回復基調となりました。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて収益の確保、生産性の向上及びコスト削減に取り組みました。

その結果、販売数量は50千トン（前年同四半期比4.9%増）となり、売上高も7,397百万円（前年同四半期比2.5%増）と増収になりました。

損益につきましては、株式会社サンユウ九州において、販売及び生産の伸長並びに減価償却費の減少等により赤字額が縮小しましたが、当社においてエネルギー価格の上昇により生産コストが増加したこと等の結果、当社単体の黒字が縮小したことから、営業損失6百万円（前年同四半期は営業損失68百万円）、経常損失7百万円（前年同四半期は経常損失59百万円）、四半期純損失は33百万円（前年同四半期は四半期純損失96百万円）となりました。

事業部門ごとの業績は、次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量が前年同四半期比微増となり、売上高についても4,695百万円（前年同四半期比1.1%増）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましても、販売数量が前年同四半期比微増となり、売上高についても2,701百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は14,982百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円減少いたしました。これは主に、原材料及び貯蔵品は172百万円増加しましたが、減価償却等により有形固定資産が193百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は8,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が100百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が193百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が321百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が63百万円減少したことなどによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,413百万円となり、前第2四半期連結累計期間末に比べ364百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は367百万円(前年同四半期は189百万円の使用)となりました。これは主に、売上債権が44百万円、棚卸資産が111百万円増加したことにより資金が減少しましたが、減価償却費を289百万円計上したことや仕入債務が309百万円増加したことにより資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は18百万円(前年同四半期比196百万円の使用減)となりました。これは主に、貸付金の回収による収入が119百万円ありましたが、有形固定資産の取得による支出94百万円や貸付けによる支出47百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は323百万円(前年同四半期比311百万円の使用増)となりました。これは主に、長期借入による収入が400百万円ありましたが、長期借入金の返済593百万円や短期借入金の返済100百万円により資金が減少したことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数(株)
普 通 株 式	19,344,000
計	19,344,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普 通 株 式	6,091,000	6,091,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	6,091,000	6,091,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年 月 日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	6,091	-	1,513,687	-	1,317,207

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
新日鐵住金株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目6番1号	2,035	33.41
株式会社メタルワン	東京都港区芝3丁目23番1号	315	5.17
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	東京都中央区日本橋1丁目4番1号	295	4.84
日鐵商事株式会社	東京都千代田区大手町2丁目2番1号	250	4.10
サンユウ従業員持株会	大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号	203	3.34
永田麻里	横浜市都筑区	203	3.34
佐藤商事株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目8番1号	180	2.96
柏木伸夫	大阪府吹田市	135	2.23
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2丁目2番1号	110	1.81
株式会社大阪螺子製作所	大阪府茨木市岩倉町1番6号	102	1.68
計	-	3,829	62.88

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 日鐵商事株式会社は、平成25年10月1日付をもって、住金物産株式会社と合併し、商号を日鐵住金物産株式会社に変更しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 108,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,981,000	59,810	-
単元未満株式	普通株式 1,700	-	-
発行済株式総数	6,091,000	-	-
総株主の議決権	-	59,810	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンユウ	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号	46,300	-	46,300	0.76
大同磨鋼材工業株式会社	広島市西区小河内町一丁目25番13号	62,000	-	62,000	1.02
計	-	108,300	-	108,300	1.78

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,388,825	1,413,714
受取手形及び売掛金	4,241,400	4,286,196
商品及び製品	2,168,319	2,107,404
原材料及び貯蔵品	1,257,034	1,429,182
繰延税金資産	58,717	78,724
その他	250,659	214,768
貸倒引当金	19,754	19,624
流動資産合計	9,345,203	9,510,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,882,123	1,807,715
機械装置及び運搬具(純額)	2,006,446	1,891,231
土地	1,448,032	1,448,032
リース資産(純額)	18,952	17,716
その他(純額)	82,856	80,083
有形固定資産合計	5,438,410	5,244,778
無形固定資産		
のれん	49,625	41,354
その他	29,450	21,699
無形固定資産合計	79,076	63,053
投資その他の資産		
投資有価証券	64,618	64,786
長期貸付金	67,063	63,456
その他	52,908	56,599
貸倒引当金	15,255	20,858
投資その他の資産合計	169,335	163,984
固定資産合計	5,686,822	5,471,816
資産合計	15,032,025	14,982,184

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,676,240	3,997,912
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	1,310,186	1,294,044
リース債務	2,472	2,472
未払法人税等	46,871	45,985
賞与引当金	76,892	133,024
その他	332,725	283,128
流動負債合計	5,545,388	5,756,566
固定負債		
長期借入金	2,395,539	2,217,802
リース債務	16,480	15,244
繰延税金負債	36,457	42,974
退職給付引当金	282,565	255,484
長期未払金	5,400	5,400
資産除去債務	33,674	33,674
固定負債合計	2,770,115	2,570,578
負債合計	8,315,504	8,327,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,513,687	1,513,687
資本剰余金	1,317,207	1,317,207
利益剰余金	3,929,437	3,866,364
自己株式	43,820	43,820
株主資本合計	6,716,511	6,653,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	1,599
その他の包括利益累計額合計	9	1,599
純資産合計	6,716,520	6,655,038
負債純資産合計	15,032,025	14,982,184

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,214,793	7,397,356
売上原価	6,453,470	6,540,325
売上総利益	761,322	857,030
販売費及び一般管理費		
運搬費	198,259	228,896
給料及び手当	193,251	193,152
賞与引当金繰入額	51,726	63,575
退職給付費用	18,756	6,360
減価償却費	47,869	44,583
のれん償却額	8,270	8,270
その他	311,674	318,277
販売費及び一般管理費合計	829,809	863,117
営業損失()	68,486	6,086
営業外収益		
受取利息	778	863
受取配当金	4,244	228
受取賃貸料	12,200	11,675
鉄屑売却収入	3,715	4,120
保険返戻金	9,315	-
その他	7,437	3,542
営業外収益合計	37,692	20,430
営業外費用		
支払利息	22,123	16,640
売上割引	1,407	642
賃貸費用	4,800	4,084
その他	832	219
営業外費用合計	29,164	21,586
経常損失()	59,958	7,243
特別利益		
固定資産売却益	343	113
投資有価証券売却益	-	215
特別利益合計	343	328
特別損失		
固定資産除却損	1,688	-
固定資産売却損	67	119
特別損失合計	1,756	119
税金等調整前四半期純損失()	61,371	7,033
法人税、住民税及び事業税	26,487	40,494
法人税等調整額	8,275	14,368
法人税等合計	34,763	26,126
少数株主損益調整前四半期純損失()	96,134	33,159
少数株主利益	-	-
四半期純損失()	96,134	33,159

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	96,134	33,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,790	1,590
その他の包括利益合計	45,790	1,590
四半期包括利益	141,925	31,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,925	31,569
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	61,371	7,033
減価償却費	325,286	289,432
のれん償却額	8,270	8,270
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,547	27,081
受取利息及び受取配当金	5,023	1,091
支払利息	22,123	16,640
投資有価証券売却損益(は益)	-	215
売上債権の増減額(は増加)	235,086	44,795
たな卸資産の増減額(は増加)	222,256	111,233
仕入債務の増減額(は減少)	847,069	309,294
長期未払金の増減額(は減少)	11,440	-
その他の負債の増減額(は減少)	31,518	6,682
その他	9,402	3,306
小計	76,506	422,198
利息及び配当金の受取額	5,128	1,122
利息の支払額	22,066	16,065
法人税等の支払額	95,969	40,981
法人税等の還付額	-	800
営業活動によるキャッシュ・フロー	189,413	367,075
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	211,103	94,344
有形固定資産の売却による収入	479	1,045
投資有価証券の取得による支出	30	-
投資有価証券の売却による収入	-	12,804
無形固定資産の取得による支出	7,277	-
子会社株式の取得による支出	-	10,313
貸付けによる支出	11,293	47,000
貸付金の回収による収入	14,494	119,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	214,730	18,515
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	100,000
長期借入れによる収入	1,000,000	400,000
長期借入金の返済による支出	969,941	593,879
自己株式の取得による支出	32	-
配当金の支払額	41,758	29,791
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,732	323,670
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	415,876	24,889
現金及び現金同等物の期首残高	1,465,071	1,388,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 1,049,194	¹ 1,413,714

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,049,194千円	1,413,714千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	1,049,194	1,413,714

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	42,313	利益剰余金	7	平成24年 3月31日	平成24年 6月29日

(注) 配当金の総額には連結子会社が保有している親会社株式に対する配当金434千円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	30,223	利益剰余金	5	平成25年 3月31日	平成25年 6月28日

(注) 配当金の総額には連結子会社が保有している親会社株式に対する配当金310千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	16円07銭	5円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失()(千円)	96,134	33,159
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失()(千円)	96,134	33,159
普通株式の期中平均株式数(株)	5,982,717	5,982,630

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

株式会社サンユウ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	堤	佳史	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小林	洋之	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	田中	賢治	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンユウの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンユウ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータは含まれていません。